

第 8 期介護保険事業の状況について

1 要支援・要介護認定者数等について

(1) 人口・高齢者数（第 1 号被保険者数）

人口、第 1 号被保険者数ともに、ほぼ計画見込みどおりであるが、第 1 号被保険者数の伸びは人口全体の伸びより大きくなっており、高齢化率は年々上昇しています。

■表 1 人口および第 1 号被保険者の推移

年度	人口				第 1 号被保険者数				高齢化率
	計画(人)	実績(人)	対計画値(%)	対前年比(%)	計画(人)	実績(人)	対計画値(%)	対前年比(%)	
R3	84,755	85,107	100.4%	100.6%	18,805	18,805	100.00%	104.9%	22.10%
R4	85,214	85,675	100.5%	100.7%	18,958	18,956	99.99%	100.8%	22.13%

※各年度末時点の実績

(2) 要支援・要介護認定者数等

ア 要介護等認定者（第 2 号被保険者含む）の推移

- ・認定者数の構成比は、要介護 1 の割合が最も多く、要介護 4 以上の重度者の割合が少ない状態が継続しており、ほぼ計画値通り推移しています。
- ・要介護認定率は、16%前半～17%前半で推移しており、国・県と比較すると低い状況です。

■表 2 要介護等認定者数（第 2 号被保険者含む）の推移

	平成30年度 3月末		令和元年度 3月末		令和2年度 3月末		令和3年度 3月末		令和4年度 1月末	
	人数	分布率	人数	分布率	人数	分布率	人数	分布率	人数	分布率
要支援1	346	11.9%	363	11.8%	364	11.6%	383	11.9%	418	12.7%
要支援2	340	11.7%	365	12.0%	374	12.0%	396	12.2%	378	11.5%
要介護1	847	29.1%	916	30.1%	912	29.2%	940	29.0%	967	29.5%
要介護2	475	16.3%	498	16.4%	527	16.9%	520	16.1%	516	15.7%
要介護3	394	13.5%	386	12.7%	426	13.6%	425	13.1%	446	13.6%
要介護4	318	10.9%	319	10.5%	345	11.0%	370	11.4%	351	10.7%
要介護5	193	6.6%	198	6.5%	177	5.7%	204	6.3%	207	6.3%
計	2,913	100.0%	3,045	100.0%	3,125	100.0%	3,238	100.0%	3,283	100.0%
認定率	16.3		16.7		16.9		17.2		17.4	
滋賀県	16.9		17.1		17.4		17.6		17.9	
全国	18.0		18.3		18.4		18.7		19.0	

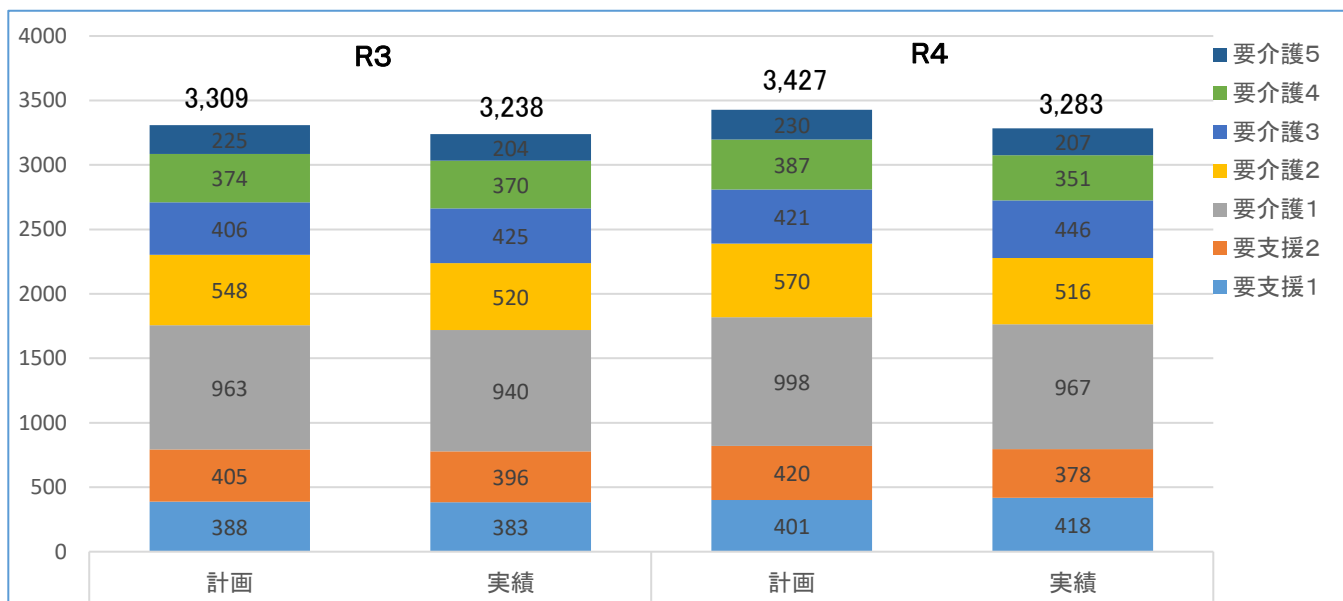
（出典）平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、

令和3年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和4年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

イ 要介護等認定者の推計値との比較

- ・第8期の要介護等認定者総数について、実績値は推計値を下回っており、要介護度別の構成比をみると、特に要介護3以上の中重度の認定者数が少ない状況です。
- ・要因としては、民生委員児童委員などの地域の見守り活動により支援が必要な高齢者に対して早期の支援が出来ていることや、百歳体操やのび体操の普及などの介護予防の取組により、要介護度の軽度化の傾向がみられます。

■図1 要介護等認定者数の計画推計値と実績値の比較表



2 介護サービスの利用について

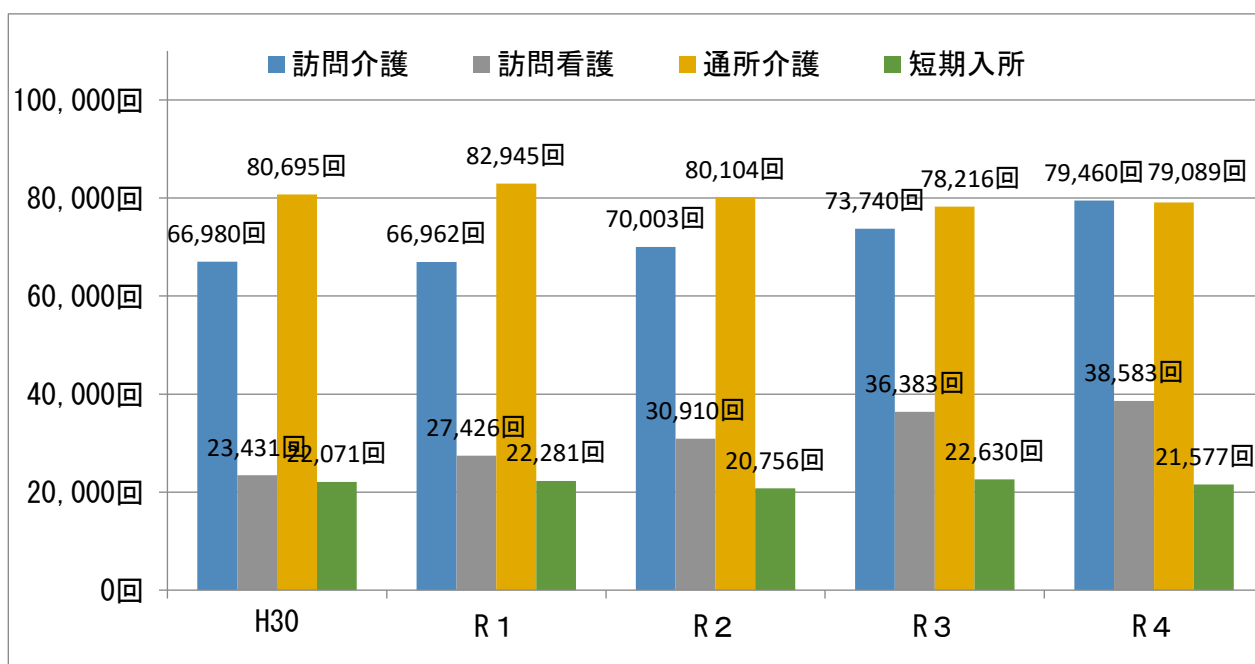
(1) 居宅サービスの利用状況

- ・訪問介護、訪問看護については利用が伸びており、通所介護、短期入所は横ばい、やや減少傾向にあります。

■表3 居宅サービスの年間給付回数（延べ回数）の推移

介護サービス種別	第7期			第8期	
	H30	R1	R2	R3	R4
訪問介護	66,980回	66,962回	70,003回	73,740回	79,460回
訪問看護	23,431回	27,426回	30,910回	36,383回	38,583回
通所介護	80,695回	82,945回	80,104回	78,216回	79,089回
短期入所	22,071回	22,281回	20,756回	22,630回	21,577回

■図2 居宅サービスの年間給付回数（延べ回数）の推移



(2) 施設サービスの状況

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）は、平成29年、令和2、3年に近隣市で新しい施設が開所されたことで年々増加しており、本市においても令和5年に開所予定のため、今後も増加することが見込まれます。介護老人保健施設は、ほぼ横ばいの状況です。
- ・介護療養型医療施設は、令和6年度に廃止されることから、平成29年度以降減少し、一方、平成30年度の制度改正により、要介護等認定者の長期療養・生活施設である介護医療院が創設され、令和元年度に草津市に開所以後、増加しています。

■表4 施設サービスの年間給付人数（延べ人数）の推移

介護施設	第7期			第8期	
	H30	R1	R2	R3	R4
介護老人福祉施設	2,533人	2,592人	2,627人	2,717人	2,769人
介護老人保健施設	1,622人	1,577人	1,426人	1,361人	1,543人
介護療養型医療施設	152人	148人	53人	14人	12人
介護医療院	-	33人	168人	173人	215人
計	4,307人	4,350人	4,274人	4,265人	4,539人

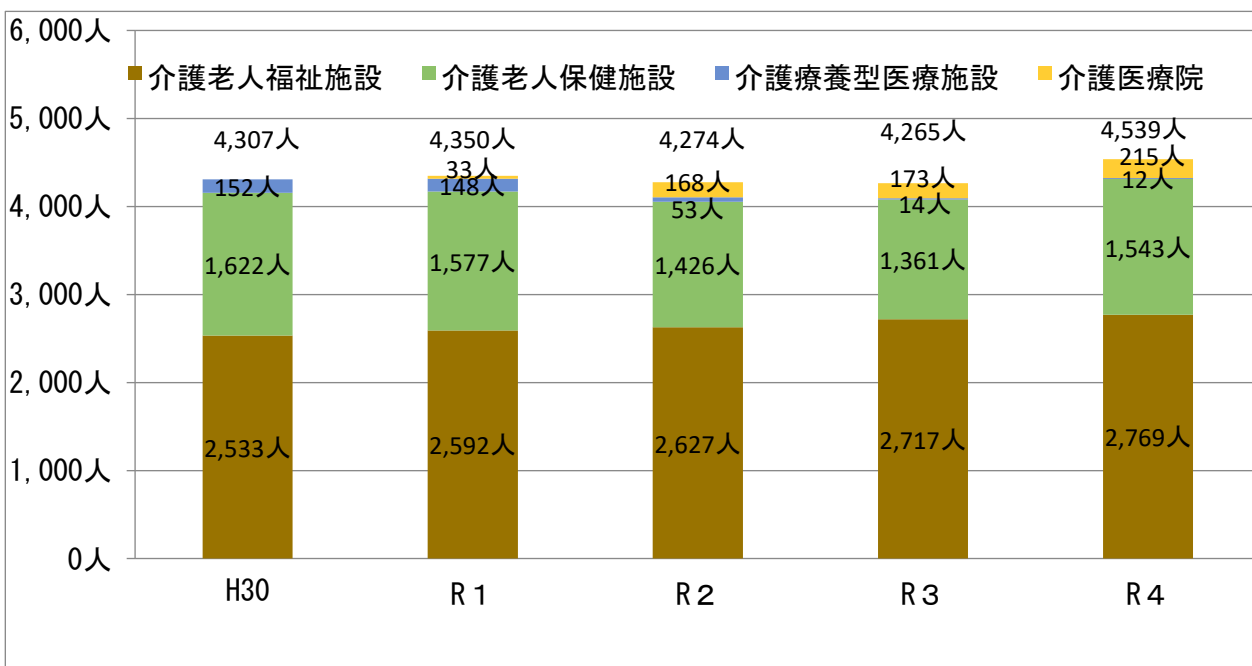
※介護療養型医療施設【医療が中心の施設】

急性期の治療が終わり、長期間にわたり療養が必要な方が対象の施設。介護体制の整った医療施設（病院）で、医療や看護が受けられることができる。（令和6年度廃止予定）

※介護医療院【長期療養の機能を備えた施設】

主に長期にわたり療養が必要な方が対象の施設。医療と介護（日常生活上の世話）が一体的に受けられることができる。（介護療養型医療施設の転換先）

■図3 施設サービスの年間給付人数（延べ人数）の推移



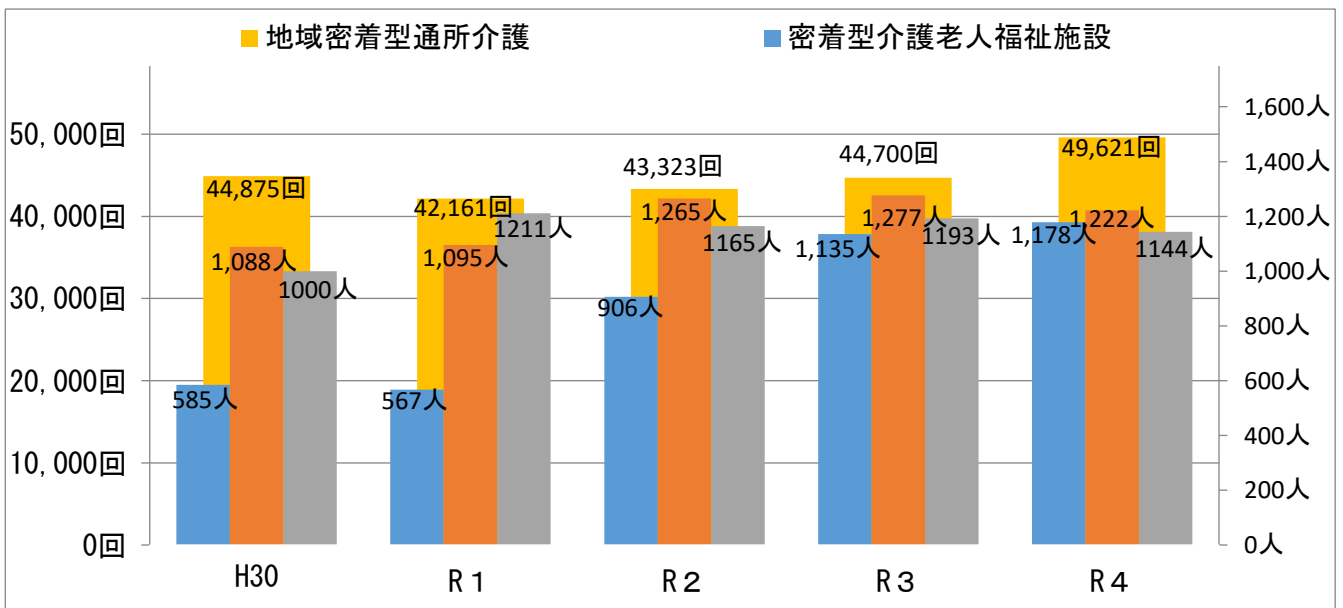
(3) 地域密着型サービスの状況

- ・小規模多機能型居宅介護は、平成 29、30 年、令和 5 年に新たに事業所が開所されたことにより増加傾向にあります。令和 2 年度では新型コロナウイルス感染症の影響により減少したと考えられ、令和 3 年度では令和元年度並みとなりました。
- ・密着型介護老人福祉施設は令和 2、3 年に、また認知症対応型グループホームは令和 2 年に本市に施設が開所されたことにより増加しています。

■表 5 地域密着型サービスの年間給付人数・回数（延べ人数・回数）の推移

介護施設	第7期			第8期	
	H30	R1	R2	R3	R4
密着型介護老人福祉施設	585人	567人	906人	1,135人	1,178人
認知症対応型グループホーム	1,088人	1,095人	1,265人	1,277人	1,222人
小規模多機能型居宅介護	1,000人	1,211人	1,165人	1,193人	1,144人
地域密着型通所介護	44,875回	42,161回	43,323回	44,700回	49,621回

■図 4 地域密着型サービスの年間給付・人数（延べ人数）・回数（延べ回数）の推移



■（参考）第8期の施設整備状況

介護施設	施設名	開所年月	定員
小規模多機能型居宅介護	らいふステーション憩い (NPO ゆうらいふ)	令和5年1月	登録定員29人
広域型特別養護老人ホーム	ゆいの里 (社福) 慈恵会)	令和5年7月予定	定員90人(改築。+30人)
	サクラベル守山 (社福) あいの土山福祉会)	令和5年11月予定	定員80人(新設)
小規模多機能型居宅介護	検 討 中		登録定員29人
認知症対応型共同生活介護			定員18人

(4) サービス給付費

- ・実績値は計画値より低い水準で推移しているものの、年々増加しています。
- ・全国的に計画値よりも実績が下回る傾向にあるなか、本市においても、要介護度の軽度化や施設整備の遅れに伴い、計画値を下回っています。

■表6 介護給付費の推移

年度	施設サービス(千円)	居宅サービス(千円)	地域密着型サービス(千円)	その他(千円)	計(千円)	対前年比(%)	計画値(千円)	対計画値(%)
R3	1,170,343	2,211,311	1,350,310	218,568	4,950,532	105.0%	5,158,284	96.0%
R4	1,252,534	2,259,869	1,329,681	210,010	5,052,094	102.1%	5,372,227	94.0%